



1904-2024
120
YEARS

モータースポーツにおける

のうしんとう
脳震盪について



のうしんとう

脳震盪とは？

脳震盪は軽度の脳損傷に見えますが、真剣に対処する必要があります。

脳震盪の知識を身につけることで、ドライバーおよびドライバーをサポートする人は、より安全にモータースポーツと関わることができます。脳震盪を起こさないことが一番であり、予防することが大切です。

事故が起こった場合だけでなく、何かに衝突しないでも頭部に大きな減速力が加わった場合には、脳震盪の兆候や症状を確認することが大切です。

重要なのは、意識不明になったり、頭を打つことだけが脳震盪ではないということです。

次のような症状に注意してください。

- 頭痛
- 吐き気
- めまい
- 倦怠感
- バランスの障害（ふらつき）
- 物忘れまたは記憶の障害
- イライラまたは感情の変化

**このような症状がある場合は
周囲に伝えましょう！**

もし周囲に脳震盪の可能性があるとと思われる人がいる場合は、医療スタッフに伝えてください。ドライバーは正しい診断を受けるために、症状を正直に伝えましょう。





競技中に脳震盪を起こした疑いがあるドライバーは、自ら医療チームに報告する必要があります。医療スタッフは診察をして診断を確定するか、脳震盪でない場合でも別のアドバイスを行います。

脳震盪を起こしたドライバーは、残りの競技を棄権しなければなりません。

72時間以内に2回目の頭部打撃や、頭部の大きな減速力を受けないようにしてください。確率は非常に低いものの重度の脳損傷が起きることがあります。これは特に10代やそれ以下の若者に起きやすく、また脳震盪の回復により時間がかかることが知られていません。

国際競技に参加しているドライバーは、FIA国際モータースポーツ競技規則付則L項第2章第2条 2.2)に従い、手続きを進めてください。
国内競技に参加しているドライバーは、ASNの医療部門に相談してください。

全てのドライバーは、脳震盪後の競技やイベントの開始時に、医師団長に申告する必要があります。開催国の規約に準じた評価書類と医療報告書を提出しなければなりません。

イベントの医師団長は、そのドライバーが競技に参加できるか判断する責任があり、必要に応じて専門家の意見を求めることができます。

忘れずに！
脳震盪の疑いがある場合は、
競技会を棄権してください。





1904-2024
120
YEARS